

「VISION2020」達成に向け、 2016-2018年度の新中期経営計画をスタート



中期経営方針 2016-2018年度

ゆるぎない 「信頼と技術」で グローバルに躍進

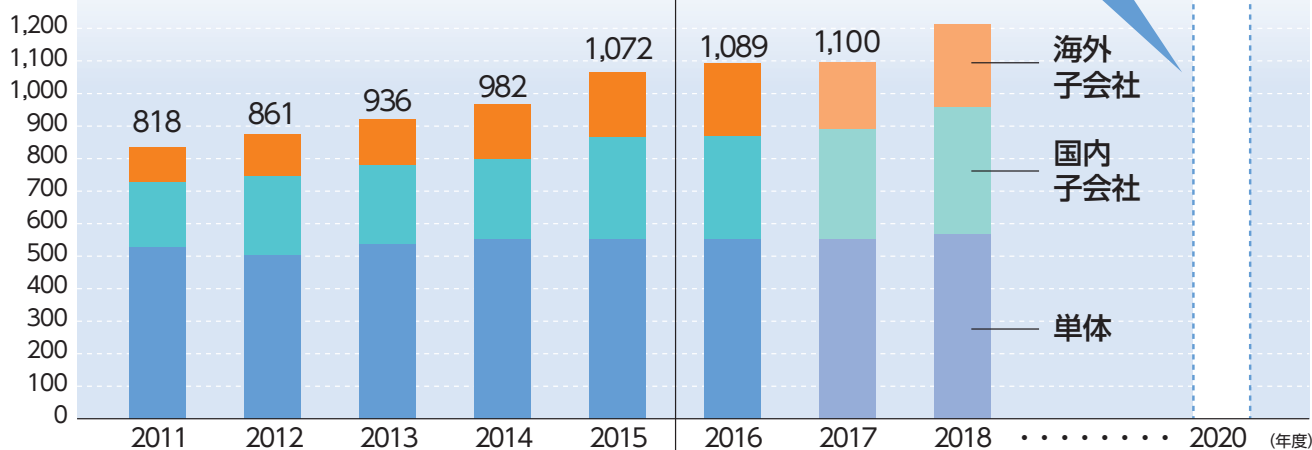
- 技術・品質・原価の徹底追求により、世界トップの競争力を持つ企業となる。
- 人材・組織づくりとリソースの最大活用により、グローバル基盤を更に強化する。

TAIHO

VISION2020と中期経営計画

(単位：億円)

売上高 推移



市場成長を見込み、
成長を図る

海外
子会社

国内
子会社

単体

VISION2015

2013-2015
前中期経営計画

VISION2020

2016-2018
中期経営計画

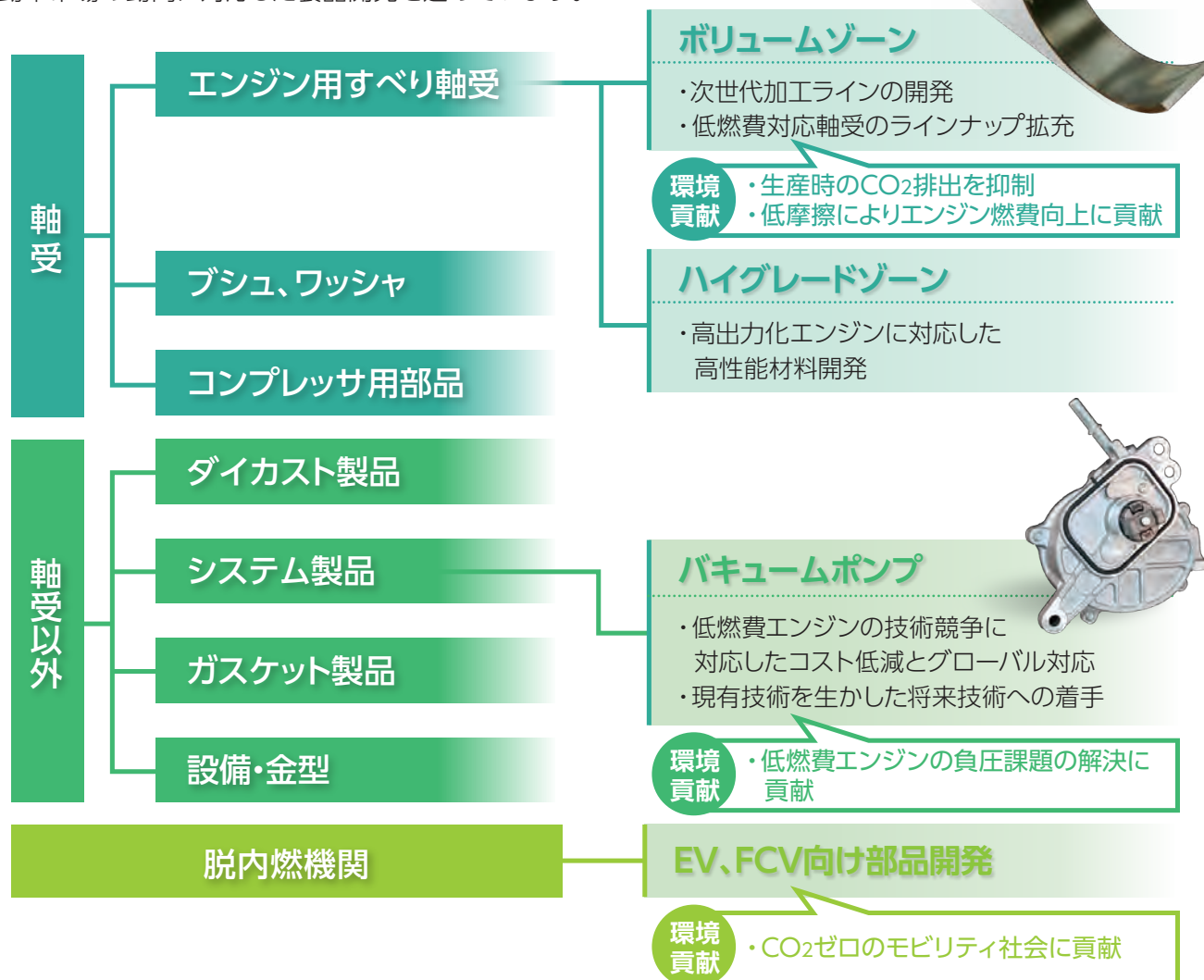
3年計画のローリング

3年計画のローリング

2011年度からVISION2015をスタートし、2015年度に売上高1,000億円(2007年度以来)を達成しました。VISION2020の実現をめざしていくなか、2016年度から中期経営計画をスタートし毎年ローリングしながら持続的な成長を図っていきます。

●地球環境に貢献するイノベーション

自動車市場の動向に対応した製品開発を進めています。



●グローバル供給を支える製造・生産技術

お客様の現地調達ニーズに応え、良品廉価な製品を提供します。

2016年度は主に中国の拠点の素材生産、樹脂コーティング軸受生産を拡大しました。今後、北米拠点にてシステム製品の生産を開始するほか、岐阜県の国内拠点の工場を増築し、更なる生産拡大を進めていきます。



大豊岐阜(株)第3工場 2017年4月竣工

●VISIONを実現する人財

詳細はP9~10 特集②へ